



ディスカバー
農山漁村の宝 AWARD
第8回選定

お問い合わせ先 農林水産省 農村振興局 農村政策部 都市農村交流課

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

tel 03-3502-5946 (直通) fax 03-3595-6340

「ディスカバー農山漁村の宝」ホームページ

[URL] <https://www.discovermuranotakara.com>



事例に関するお問い合わせや本事例集に関する御意見等がございましたら、
上記又はお近くの地方農政局（沖縄県につきましては沖縄総合事務局）まで御連絡ください。

ディスカバー
農山漁村の宝 AWARD
第8回選定

DISCOVER MURANO TAKARA AWARD

これからは、
農山漁村の時代だ。



農林水産省



「ディスカバー農山漁村の宝」の概要

趣旨

「ディスカバー農山漁村の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものです。

有識者懇談会委員 (五十音順、敬称略)



あん・まくだなるど
上智大学大学院教授
慶応義塾大学特任教授



今村 司
(株)読売巨人軍
代表取締役社長



織作 峰子
大阪芸術大学教授
写真家



田中 里沙
事業構想大学院大学学長
(株)宣伝会議取締役



永島 敏行
俳優
(有)青空市場代表取締役



林 良博
国立科学博物館顧問
東京大学名誉教授



藤井 大介
(株)大田原ツーリズム
代表取締役社長
(株)ファーム・アンド・
ファーム・カンパニー
代表取締役社長



三國 清三
オテル・ドゥ・ミクニ
オーナーシェフ



向笠 千恵子
フードジャーナリスト
食文化研究者
郷土料理伝承学校校長



横石 知二
(株)いるどり
代表取締役社長

対象となる取組

- ◆美しく伝統ある農山漁村の次世代への継承
- ◆幅広い分野・地域との連携による農林水産業や農山漁村の再生
- ◆国内外の新たな需要に即した農林水産業の実現

「ディスカバー農山漁村の宝」 グランプリ、優秀賞及び特別賞について

平成26年(第1回選定)からスタートした「ディスカバー農山漁村の宝」は、令和3年選定(第8回選定)として、6月16日から約2ヶ月間公募し、合計651件の応募の中から団体部門(コミュニティ部門及びビジネス部門)として34地区と、個人部門として4名を選定しました。

また、選定された34地区及び4名の中からさらにグランプリ、優秀賞(「コミュニティ部門」2地区、「ビジネス部門」2地区、「個人部門」1名)及び特別賞(10地区(者))を決定しました。



一般社団法人三重県 障がい者就農促進協議会

農業ジョブトレーナーを養成し、福祉事業所や農業経営体をサポートすることで、農福連携を推進。県内の福祉事業所及び農業経営体における障がい者就農人数は、540人(平成28年度)から636人(令和2年度)に増加。県教育委員会と連携し、県立特別支援学校(知的障害)の農業実習の充実を図り、農業経営体を進路とする生徒を支援。

三重県
津市



グループ農夫の会

農作業体験や支援団体とのイベント活動、棚田米の販売など、地域内外の協力により、棚田再生と地域活性化に向けて活動。モンテディオ山形、山形交響楽団や山辺町等と連携し、棚田での米づくりに着目した棚田再生を実施。棚田再生面積は、0.4ha(平成23年度)から2.6ha(令和2年度)まで拡大、会員数も101名に増加。

山形県
山辺町

関係者の連携による
活動で地域に活力を
もたらす取組等



株式会社ELEZO社

食肉における自社一貫フードチェーンと5業種のプロ集団構築を行い、食にまつわる課題解決に貢献。企業として国内で初めてハンターを雇用し、農業被害の減少に貢献しつつ、食に特化した狩猟法を確立。自社レストラン等の顧客数は4,200人(平成28年度)から17,300人(令和3年度見込み)に増加。

徳島県
神山町

北海道
豊頃町

事業化を通じて
所得向上や雇用を
生み出す取組等

いちやじょう 一夜城ヨロイツカファーム・ マルシェ部会

約7,000㎡の荒廃農地をマルシェ部会員とパティシエ鎧塚俊彦氏が整備して一夜城ヨロイツカファームとして開業。誘客拠点を運営、直売所を運営して会員の所得向上に寄与。コロナにより来店客数が減少する中、客単価のアップを図ることで販売額の減少を食い止め、年間2,800万円程度の売上を確保。

神奈川県
小田原市



うえだ てるよし 植田 輝義

地元特産の黄ニラと岡山パクチー大使として、メディアや祭への参加により産地をPRするとともに、学校、福祉等とも連携。岡山交通株式会社とのコラボによる「黄ニラタクシー」の誕生、地元企業とのコラボによる「パクチーゼリー」の商品化など、企業連携も強化。メディア等でのPRにより、黄ニラと岡山パクチーの売上高は、1,620万円(平成29年度)から2,070万円(令和2年度)に増加。

岡山県
岡山市

地域でリーダー的な
活躍をしている者等

ロゴマーク



農村をイメージした「稲穂」と漁村をイメージした「海・波」、農山村をイメージした「山」をモチーフにしたデザイン。

[制作者：濱中 幸子 氏 (グラフィックデザイナー)]

「ディスカバー農山漁村の宝」 グランプリ、優秀賞及び特別賞について



ナイスネーミング賞

環境大善株式会社

北海道
北見市

牛の尿を発酵・培養させた「善玉活性水」を用い消臭液、土壌改良材等の商品開発と製造販売を実施。消臭液や土壌改良材等の売上は、約1億8,800万円(平成28年度)から約2億6,000万円(令和2年度)に増加。土壌改良材等は近隣アジア7ヶ国に輸出されており、輸出先での土壌改良や水質保全にも貢献。



食文化にエール賞

北広島商工会 「きたひろしま開拓プロジェクト委員会」

北海道
北広島市

地元商工会や農業者等が連携し、赤毛米の復活栽培、加工品の企画・開発等により、市民の誇りの醸成と地域活性化に貢献。赤毛米や赤毛米酒粕を使用した加工品の販売のほか、キャラクター「まいピー」によるPR活動等も実施。赤毛米を使用した商品数は10品目(平成28年度)から、22品目(令和2年度)に増加。



日本が誇る美景観賞

株式会社ワカヤマファーム

栃木県
宇都宮市

宇都宮北部に24haの圃場を有し、タケノコ、竹、栗を栽培しつつ、その竹林を観光資源として一般開放。入場者数は、4,000人(平成28年度)から4万人(令和2年度)に増加。竹林の美しさから、栃木県・宇都宮市のフィルムコミッションと連携し、撮影ロケ地としても利用。



農泊賞

SAKU酒蔵アグリツーリズム 推進協議会

長野県
佐久市

酒蔵に蔵人として宿泊し、日本酒造りを体験できる世界初の酒蔵ホテルとして、インバウンドを誘致。空白地帯とされる軽井沢・長野間に位置する佐久の新たな冬のコンテンツとして、日本酒文化の神秘性、魅力を国内外に発信。令和元年度に立ち上げた取組ではあるが、蔵人体験人数は135人(令和2年度)から300人(令和3年度見込み)に増加。



食ブランド賞

お茶の通販・京都おぶぶ茶苑 合同会社

京都府
和束町

宇治茶生産地にて、日本茶の通信販売・輸出、オンライン教育部門への参入を通じ、町内ビジネスのDX化推進に貢献。年4回茶畑直送の茶葉が届く「茶畑オーナー制度」等の取組も実施。輸出額は900万円(平成27年度)から2,500万円(令和2年度)に増加。

「ディスカバー農山漁村の宝」 グランプリ、優秀賞及び特別賞について



空中に輝く新林賞

空中の村

奈良県
十津川村

森林を活用したアウトドア施設「空中の村」の管理、運営を行い、村の新たなツーリズムの拠点施設として、誘客を促進。フランス国籍の地域おこし協力隊員が、地域の森林を活かし、アート×アスレチック×憩いの場を融合させたアウトドア施設を整備。来園者数は373人(令和元年度)から3,782人(令和2年度)へと増加。



ブランディング確立特別賞

那須 誠

和歌山県
田辺市

平成17年に父親が品種開発し生み出した果皮が紫色の大梅品種のブランディングとPRの両活動を自らが旗振り役となって実施。「ミスなでしこ®」の出荷量は、様々なPR活動と販路拡大の結果、1,754kg(平成29年産)から3,325kg(令和3年産)に増加。



農と地域づくり賞

株式会社敷信村農吉

広島県
庄原市

里山の自然を活かした保育所の運営を軸に、農産物やチーズの製造・販売等の地域密着型の事業を展開。保育所では、園庭での野菜栽培、自社農園の農産物を使った給食の提供など、「身土不二」を教育。野菜やチーズ等の売上は、コロナの影響がある中で、約7,400万円(平成30年度)から約8,000万円(令和2年度)に増加。



サステナブル賞

黒川 真太郎

徳島県
阿南市

農業・食品加工・販売の3本柱の小さな6次産業を実践するとともに、子育て環境の充実として学童保育を立ち上げ運営。環境保全型農業での農産物づくりを実践。お米の消費拡大のため、パンや菓子等の食品加工、全国の消費者へのネット販売も実施。10種類の野菜セット、ブランド米等を全国発送しており、現在全国で約240世帯が登録中。



先端発信賞

愛媛県立三崎高等学校 「せんたんプロジェクト」

愛媛県
伊方町

高校生が主体となる地域の魅力開発及び発信により、伊方町の関係人口の増加と移住・定住者数の確保に貢献。全校生徒をPR、カフェ、商品開発、ツアー、アート、防災の6つのグループに分け探究活動を実施。本プロジェクトの実施によって県外からの入学志願者数が増加し、地元への就職率も25%(平成28年度)から40%(令和2年度)に増加。

選定証授与式・交流会

「ディスカバー農^{むら}山漁村の宝」第8回選定関係者は、令和3年12月9日に総理大臣官邸において、選定証を受領し、内閣総理大臣、内閣官房長官、農林水産大臣、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）等からの直接の激励を受けるとともに、関係者同士の交流を行いました。



内閣総理大臣、内閣官房長官、農林水産大臣、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）等と選定者で記念撮影



有識者懇談会座長から選定証を授与



農林水産大臣政務官、内閣府副大臣等との記念撮影



内閣総理大臣からの祝辞



内閣総理大臣とグランプリ受賞者の記念撮影



農林水産大臣からの祝辞



優秀賞・特別賞受賞者への楯の授与



有識者懇談会委員と優秀賞・特別賞受賞者の記念撮影



内閣府特命担当大臣（地方創生担当）から優秀賞受賞者への楯の授与

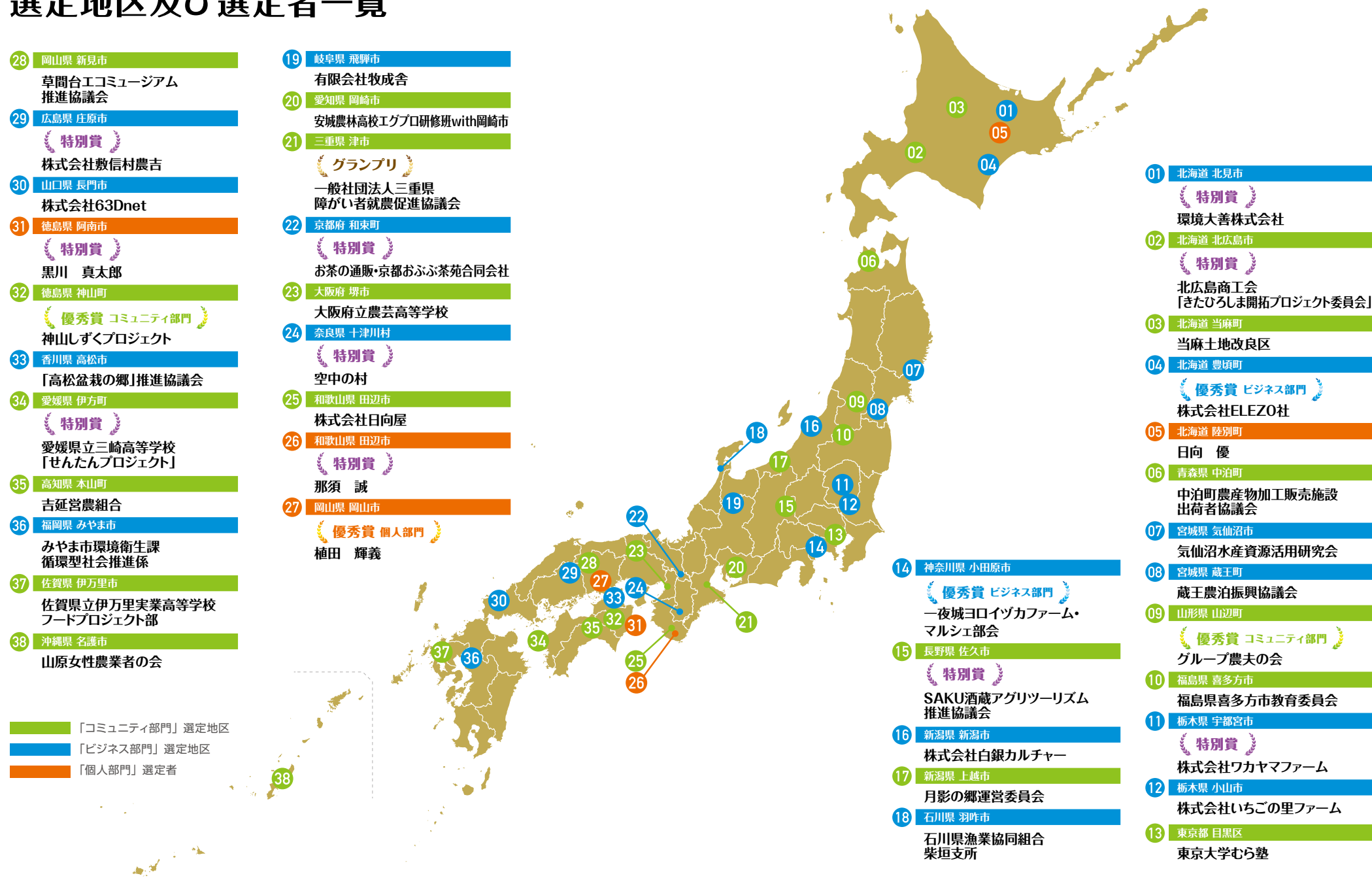
「ディスカバー農山漁村の宝」(第8回選定)

選定地区及び選定者一覧

- 28 岡山県 新見市
草間台エコミュージアム
推進協議会
- 29 広島県 庄原市
特別賞
株式会社敷信村農吉
- 30 山口県 長門市
株式会社63Dnet
- 31 徳島県 阿南市
特別賞
黒川 真太郎
- 32 徳島県 神山町
優秀賞 コミュニティ部門
神山しずくプロジェクト
- 33 香川県 高松市
「高松盆栽の郷」推進協議会
- 34 愛媛県 伊方町
特別賞
愛媛県立三崎高等学校
「せんたんプロジェクト」
- 35 高知県 本山町
吉延営農組合
- 36 福岡県 みやま市
みやま市環境衛生課
循環型社会推進係
- 37 佐賀県 伊万里市
佐賀県立伊万里実業高等学校
フードプロジェクト部
- 38 沖縄県 名護市
山原女性農業者の会

- 19 岐阜県 飛騨市
有限会社牧成舎
- 20 愛知県 岡崎市
安城農林高校エグプロ研修班with岡崎市
- 21 三重県 津市
グランプリ
一般社団法人三重県
障がい者就農促進協議会
- 22 京都府 和束町
特別賞
お茶の通販・京都おふふ茶苑合同会社
- 23 大阪府 堺市
大阪府立農芸高等学校
- 24 奈良県 十津川村
特別賞
空中の村
- 25 和歌山県 田辺市
株式会社日向屋
- 26 和歌山県 田辺市
特別賞
那須 誠
- 27 岡山県 岡山市
優秀賞 個人部門
植田 輝義

■ 「コミュニティ部門」選定地区
■ 「ビジネス部門」選定地区
■ 「個人部門」選定者



- 01 北海道 北見市
特別賞
環境大善株式会社
- 02 北海道 北広島市
特別賞
北広島商工会
「きたひろしま開拓プロジェクト委員会」
- 03 北海道 当麻町
当麻土地改良区
- 04 北海道 豊頃町
優秀賞 ビジネス部門
株式会社ELEZO社
- 05 北海道 陸別町
日向 優
- 06 青森県 中泊町
中泊町農産物加工販売施設
出荷者協議会
- 07 宮城県 気仙沼市
気仙沼水産資源活用研究会
- 08 宮城県 蔵王町
蔵王農泊振興協議会
- 09 山形県 山辺町
優秀賞 コミュニティ部門
グループ農夫の会
- 10 福島県 喜多方市
福島県喜多方市教育委員会
- 11 栃木県 宇都宮市
特別賞
株式会社ワカヤマファーム
- 12 栃木県 小山市
株式会社いちごの里ファーム
- 13 東京都 目黒区
東京大学むら塾
- 14 神奈川県 小田原市
優秀賞 ビジネス部門
一夜城ヨロイヅカファーム・
マルシェ部会
- 15 長野県 佐久市
特別賞
SAKU酒蔵アグリツーリズム
推進協議会
- 16 新潟県 新潟市
株式会社白銀カルチャー
- 17 新潟県 上越市
月影の郷運営委員会
- 18 石川県 羽咋市
石川県漁業協同組合
柴垣支所



かんきょうだいぜん

環境大善株式会社

ナイスネーミング賞

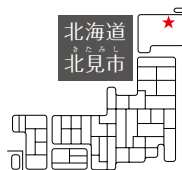


消臭液の一般販売店での陳列の様子

ビジネス部門

環境保全

輸出

〒099-2103 北海道北見市
端野町三区 438-7

tel 0157-67-6788

fax 0157-67-6718

mail otoiawase@kankyo-daizen.jp



「善玉活性炭」使用先の農作業風景



北見工大との共同研究講座締結時の会見写真

概要

- ◆ 牛の尿を発酵・培養させた「善玉活性炭」を用い消臭液、土壌改良材等の商品開発と製造販売を実施。
- ◆ 土壌改良材等は近隣アジア7ヶ国に輸出されており、輸出先での土壌改良や水質保全にも貢献。

成果

- ◆ 消臭液や土壌改良材等の売上は、約1億8,800万円(平成28年度)から約2億6,000万円(令和2年度)に増加。
- ◆ 海外輸出量は、36トン(平成28年度)から80トン(令和2年度)に増加。



詳細は団体のHPから



食文化にエール賞

北広島商工会

「きたひろしま開拓プロジェクト外委員会」

コミュニティ部門

伝統の承継

企業との連携

〒061-1121 北海道北広島市中
央5丁目7-2

tel 011-373-3333

fax 011-373-3212

mail shokokai@kitahironavi.or.jp



赤毛米の収穫、手作業による自然乾燥作業



赤毛米の日本酒「久蔵翁」

概要

- ◆ 地元商工会や農業者等が連携し、赤毛米の復活栽培、加工品の企画・開発等により、市民の誇りの醸成と地域活性化に貢献。
- ◆ 赤毛米や赤毛米酒粕を使用した加工品の販売のほか、キャラクター「まいピー」によるPR活動等も実施。



キャラクター「まいピー」のグッズ商品類

成果

- ◆ 栽培に手間がかかる赤毛米の栽培面積について、令和元年度にはこれまでの30aから60aに増加。
- ◆ 赤毛米を使用した商品数について、10品目(平成28年度)から、22品目(令和2年度)に増加。

とうま
当麻土地改良区

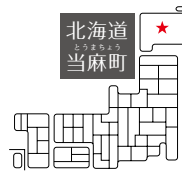


稲の生育観察と田んぼに棲む生き物観察

コミュニティ部門

農村文化体験

食育・教育



〒078-1314 北海道上川郡
当麻町4条東3丁目4番63号

tel 0166-84-2231

fax 0166-84-2232

mail yamasita@tohma-kairiyoku.or.jp



大雪頭首施設見学会



農業・農村の持つ多面的機能の学習

概要

- ◆ 小学4年生の社会科「水はどこから」の授業と関連して施設見学会のほか出前教室を開催し、米づくりや農業について学習。
- ◆ 当麻町教育委員会から無償でスクールバスの提供を受け、ソーシャルディスタンスを確保しつつ土地改良施設見学会を開催。

成果

- ◆ 毎年町内の小学生100名程度を対象に田んぼの教室、土地改良施設見学会を継続。
- ◆ 田んぼを総合学習の場とした「田んぼの教室」は18年目を迎え、行政やJA等と連携し、子どもたちの学習の場を提供。

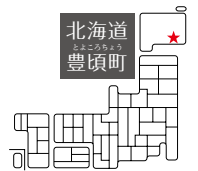


え れ ぞ
株式会社 ELEZO 社

ビジネス部門

6次産業化

ジビエ



〒089-5465 北海道中川郡
豊頃町大津125番地

tel 015-575-2211

fax 015-575-2211

mail info@elezo.com



狩猟による生産食肉加工製品：テリーヌ



オーストラリア キューンズランド州でのイベント風景

概要

- ◆ 食肉における自社一貫フードチェーンと5業種のプロ集団構築を行い、食にまつわる課題解決に貢献。
- ◆ 企業として国内で初めてハンターを雇用し、農業被害の減少に貢献しつつ、食に特化した狩猟法を確立。



令和元年度 農林水産省料理人顕彰制度 料理マスターズ受賞式

成果

- ◆ エゾシカの搬入実績は、500頭（平成28年度）から1,000頭（令和元年度）に増加。自社レストラン等の顧客数も4,200人（平成28年度）から17,300人（令和3年度見込み）に増加。
- ◆ 令和2年には、豪州から招待を受け、カンガルーを対象に自社モデルを体現する料理イベントを開催。

詳細は団体のHPから



ひなた 日向 ゆう 優

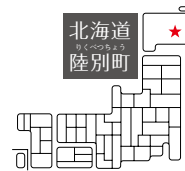


日向氏と畑の様子（植物はキバナオウゴン）

個人部門

6次産業化

企業との連携



〒089-4300 北海道足寄郡
陸別町字陸別原野基線 69-1-B-1
種を育てる研究所（タネラボ）
tel 0156-27-8222
fax 0156-27-8222
mail hinata@tane-lab.com



帯広の健康カフェにて講演会の講師を務めた



北見市レストランの「やくぜんうどん」

概要

- ◆ 薬用植物を自ら栽培し、専門的知識を活かした機能性商品の開発や地域活動を実施。
- ◆ 地域おこし協力隊として着任後、薬剤師資格や製薬会社での研究経験を活かし、企業や大学と連携しながら町の経済活性化に貢献。

成果

- ◆ 町の栄養教諭と協力し学校に薬膳給食を提供したほか、北見市のレストランに薬膳メニュー「やくぜんうどん」を提供。
- ◆ 町内では畑作がほとんど行われていない中で、ゼロから新産業を創出できたことにより、メディアにも多数取り上げられ視察者も増加。



詳細は団体のHPから →

なかどまりまち

中泊町農産物加工販売施設 出荷者協議会

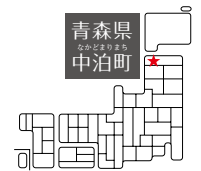


保冷車を活用した移動販売

コミュニティ部門

地域づくり

高齢者の活躍



〒037-0309 青森県北津軽郡
中泊町大字八幡字日向 334
tel 0173-57-5054
fax 0173-57-5053
mail sanchoku-pure@bz04.plala.or.jp



会員からの集荷状況

概要

- ◆ 農産物の集荷・宅配・移動販売を実現し、高齢出荷者及び車を保有していない買物弱者への支援を実施。
- ◆ 商工業者等と協力して「ピュア朝市」の開催のほか、地元高校生のプロジェクトと連携した商品開発等を展開。



「ピュア朝市」の様子

成果

- ◆ 移動販売の売上は、約3万円（平成30年度）から約600万円（令和2年度）に増加しており、高齢者等の買い物支援に貢献。
- ◆ 「ピュア朝市」では農産物出品のほか、ヨガや健康食の情報提供など健康づくりを学習・実践できる機会も創出。

気仙沼水産資源 活用研究会

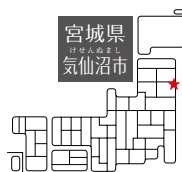


気仙沼水産資源活用研究会の開発商品

ビジネス部門

水産

企業との連携



〒988-0037 宮城県気仙沼市
八日町一丁目1番1号
気仙沼市 産業部 水産課 加工振興
係内

tel 0226-29-6788

fax 0226-29-6788

mail suisan@kesenuma.miyagi.jp



平成27年度に(株)KESEMO MARINUSが誕生



ワーキンググループでのディスカッション

概要

- ◆ 30社超の地元企業と気仙沼市が連携し、平成25年11月に発足。地域資源を活用した商品開発、共通ロゴ等による販路拡大。
- ◆ 平成27年度には、(株)KESEMO MARINUS^{ケセモマリナス}を設立し、化粧品等の水産加工製品ブランドを展開。

成果

- ◆ 会の活動を通じて、商品開発のノウハウやアドバイザー・研究機関との繋がりが高まることに加え、様々な業種の地元企業が協働し、個社では取り組めないような新たな挑戦へのきっかけとなっている。
- ◆ フカコラーゲンを使った洗顔料や化粧品、ホヤを使った醤油やソース等の特徴的な新商品の開発、情報発信を実施。



詳細は団体のHPから

蔵王農泊振興協議会



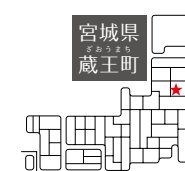
空き家を改修した宿泊施設

ビジネス部門

農泊

荒廃農地対策

移住・定住



〒989-0916 宮城県刈田郡
蔵王町遠刈田温泉字小妻坂75-31

tel 0224-34-1192

fax 0224-34-2869

mail info@zao-nouhaku.jp



ワーケーション風景



体験コンテンツ(陶芸体験)

概要

- ◆ 「空き家」、「荒廃農地」等の「負債」を有効に利用することで、「宿泊施設」、「観光農園」等の「資源」に転化。
- ◆ 陶芸体験等の新たな体験コンテンツの導入、地域の食材を使った新メニュー開発ワークショップの実施など、観光資源を充実。

成果

- ◆ 農泊関連売上は、500万円(平成30年度)から1億5,000万円(令和2年度)に増加。
- ◆ コロナ以降はワーケーション、マイクロツーリズム等の新たなターゲットに切り替え、コロナ前よりも観光客が増加。



詳細は団体のHPから



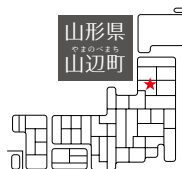
グループ農夫の会



支援団体との稲刈り風景

コミュニティ部門

棚田保全



〒990-0341 山形県山辺町
大字大蔵 109 番地
tel 023-643-8800
fax 023-643-8800
mail info@group-nofunokai.jp



大蔵棚田米、モンテ棚田米、山響棚田米



雪中棚田サッカー大会

概要

- ◆ 農作業体験や支援団体とのイベント活動、棚田米の販売など、地域内外の協力により、棚田再生と地域活性化に向けて活動。
- ◆ モンテディオ山形、山形交響楽団や山辺町等と連携し、棚田での米づくりに着目した棚田再生を実施。

成果

- ◆ 棚田再生面積は、0.4ha（平成23年度）から2.6ha（令和2年度）まで拡大、会員数も101名に増加。
- ◆ モンテディオ山形と連携した雪中棚田サッカー大会、山形交響楽団との連携による「棚田でピクニックコンサート」等の実施により交流人口の拡大に貢献。



詳細は団体のHPから →

きたかたし

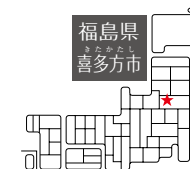
福島県喜多方市 教育委員会



黄金色に実った稲の刈り取り

コミュニティ部門

食育・教育



〒966-8601 福島県喜多方市
字御清水東 7244 番地 2
tel 0241-24-5314
mail k-saito9@city.kitakata.fukushima.jp



喜多方市小学校農業科作文コンクール授賞式



力が必要な田押し車による除草

概要

- ◆ 国の構造改革特区の認定を受けたことからスタートし、現在、市内全ての小学校が、年間を通し農業学習として「農業科」を実施。
- ◆ 小学校農業科副読本による学習だけでなく、稲、大豆やトマト等の多数の野菜を自ら栽培し、調理・加工から食することまで実践。

成果

- ◆ 種まき、栽培管理、収穫、調理、試食までの実習のほか、年間を通じたまとめとして「小学校農業科作文コンクール」を実施。
- ◆ 地域の農業者を「農業科支援員」として配置。子どもたちにはより深い農業体験につながり、農業者には活動の場や生きがいがいい。



日本が誇る美観賞

株式会社 ワカヤマファーム

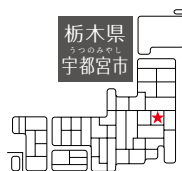


24ha もの敷地に広がる圧巻の竹林

ビジネス部門

6次産業化

景観保全

〒320-0075 栃木県宇都宮市
宝木本町 2018

tel 028-665-1417

fax 028-665-4428

mail info.wakayamafarm@gmail.com



タケノコや栗の6次化製品を販売



竹を自ら切り倒して竹工作の材料とする体験

概要

- ◆ 宇都宮北部に 24ha の圃場を有し、タケノコ、竹、栗を栽培しつつ、その竹林を観光資源として一般開放。
- ◆ 竹林の美しさから、栃木県・宇都宮市のフィルムコミッションと連携し、撮影ロケ地としても利用。

成果

- ◆ 入場者数は、4,000 人（平成 28 年度）から 4 万人（令和 2 年度）に増加。
- ◆ タケノコ等の農産物、6 次化商品の売上は、270 万円（平成 28 年度）から 4,100 万円（令和 2 年度）に増加。



詳細は団体の HP から ➡

株式会社 いちごの里ファーム



いちご狩りの様子

ビジネス部門

農福連携

6次産業化

〒323-0058 栃木県小山市
大川島 408

tel 0285-33-1070

fax 0285-33-1071

mail h.oguro@itigoo.co.jp



農福連携で働く従業員と「王さまいちごゼリー」



自社製いちごを使用した6次化商品

概要

- ◆ いちごの観光資源化と就労継続支援事業所の開設、農福連携による地域の活性化と地域社会への貢献。
- ◆ 国内最大級の観光農園を展開する一方で、平成 30 年度には JGAP 認証を取得。いちごを使ったジャムやケーキ等の6次産業化も推進。

成果

- ◆ 果物狩りやレストラン等の来客数は年間 30 万人近くに上り、売上は 4.2 億円（平成 20 年度）から 8.8 億円（令和 3 年度見込み）と 2 倍強に。
- ◆ 社会福祉法人めぐみ会を設立し、58 名の障がい者を雇用。コロナ禍でも 1 人のリストラもなく雇用の創出、地域活性化に貢献。



詳細は団体の HP から ➡

東京大学むら塾

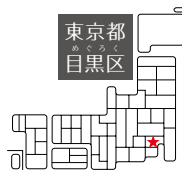


地域の小学校で寺子屋を実施

コミュニティ部門

若者の活躍

荒廃農地対策



〒153-0041 東京都目黒区駒場
3-8-1 東京大学駒場キャンパス
キャンパスプラザ B305
tel 080-3746-6502
mail ut.murajuku@gmail.com



遊休農地での田植えの様子



ふるさと納税イベントにて「てとて」をPR、販売

概要

- ◆平成27年に東京大学の学生によって結成され、千葉県富津市相川・梨沢地区で活動する谷田皿引農地水保全会との連携活動を実施。
- ◆遊休農地の活用等を通じて地域コミュニティの活性化に貢献。地域ブランディングによる6次化の実現。

成果

- ◆住民とのワークショップ、地域の子どもたちに勉強を教える「寺子屋」やむらおこしコンテストなど、地域との交流を実施。
- ◆遊休農地でコシヒカリを栽培し、ブランド米「てとて」として発信し、販売促進。



詳細は団体のHPから →

いちやじょう



一夜城ヨロイツカ ファーム・マルシェ部会

ビジネス部門

企業との連携

6次産業化



〒250-0021 静岡県小田原市
早川 1352-110
一夜城ヨロイツカファーム内
tel 0465-24-3150
mail yf-toshi@y.email.ne.jp



一夜城ヨロイツカファーム・女性部のメンバー



マルシェ（農産品直売所）の外観



一夜城ヨロイツカファームの全景

概要

- ◆約7,000㎡の荒廃農地をマルシェ部会員とパティシエ鑑塚俊彦氏が整備し「一夜城ヨロイツカファーム」と名付け平成23年に開業。
- ◆有名パティシエと連携して荒廃農地を再生し誘客拠点を運営、直売所を運営して会員の所得向上に寄与。

成果

- ◆コロナにより来店客数が減少する中、客単価のアップを図ることで販売額の減少を食い止め、年間2,800万円程度の売上を確保。
- ◆新たな地域特産品としてオリーブの栽培にも取り組み、平成30年度にはオリーブオイル、新漬けの製品化・販売も開始。



詳細は団体のHPから →



SAKU 酒蔵アグリツーリズム 推進協議会

農泊賞

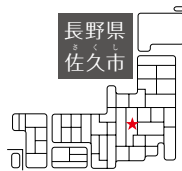


蔵人として本格的な酒造りを体験する参加者

コミュニティ部門

農泊

伝統の承継

〒384-0301 長野県佐久市
白田 653-2

tel 0267-74-0588

fax 0267-74-0588

mail info@kurabitostay.com



築100年の蔵人の宿舎を宿泊施設にリフォームした「酒蔵ホテル」



周辺飲食店で実施している着地型旅行商品

概要

- ◆ 酒蔵に蔵人として宿泊し、日本酒造りを体験できる世界初の酒蔵ホテルとして、インバウンドを誘致。
- ◆ 空白地帯とされる軽井沢・長野間に位置する佐久の新たな冬のコンテンツとして、日本酒文化の神秘性、魅力を国内外に発信。

成果

- ◆ 令和元年度に立ち上げた取組ではあるが、蔵人体験人数は135人(令和2年度)から300人(令和3年度見込み)に増加。
- ◆ コロナによりインバウンドの受入はできていないが、国内在住の外国籍の顧客(約1割)も含め、顧客満足度は高い(100%)。



詳細は団体のHPから

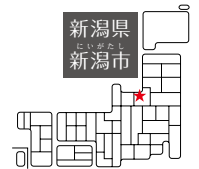
株式会社 しろがね 白銀カルチャー

ビジネス部門

スマート農業



自動運転トラクターの作業見学会

〒956-0826 新潟県新潟市
秋葉区岡田 370

tel 0250-21-7170

fax 0250-21-7171

mail shirogane@lime.ocn.ne.jp



自動給水栓とドローンで定型作業を省力化

概要

- ◆ スマート農業により水稲生産を効率化し高収益作物を導入、若者の雇用を促進、地域を活性化。
- ◆ ICT機器を積極的に導入し、効率化により生まれた余剰労働力を高収益な園芸作物等に振り向ける高収益型水田農業を実践。



自動選別機を導入し高品質な枝豆を出荷

成果

- ◆ 水稲の10a当たり労働時間は20.5時間(地域平均)から7.9時間(令和2年度)に約6割減少。枝豆、カリフラワー等の作付面積を増加。
- ◆ 水稲主体から多様な作物を導入することにより、売上高は1億2,500万円(平成28年度)から1億6,200万円(令和2年度)に着実に増加。

つきかげ さと
月影の郷運営委員会

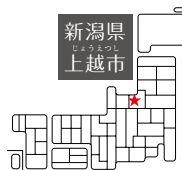


廃校を再生した宿泊体験交流施設 月影の郷

コミュニティ部門

農村文化体験

若者の活躍

〒 942-0322 新潟県上越市
浦川原区横住 410 番地

tel 025-599-3302

fax 025-599-3302

mail info@tsukikage.net



「チャレンジ!さんばいし投げ」競技の様子



さんばいし (椀俵)

成果

概要

- ◆ 「宿泊・体験・交流」を目的に、廃校施設に学校関係や会社等を広く受け入れ活動を実施。
- ◆ 建築系4大学が共同で廃校再生計画を提案。市から指定管理の許可を受け、田舎体験メニューの提供、都市住民との交流等を実施。

- ◆ 廃校活用の知名度が上がり、口コミでのリピーターにより年々利用者が増加。令和元年度には年間 7,000 人超に。
- ◆ コロナにより宿泊者等は減少したが、3密対策を実施しながら、ドローン講習会や小学校の総合学習の受け入れ等を実施。



詳細は団体のHPから →

石川県漁業協同組合
しばがき
柴垣支所

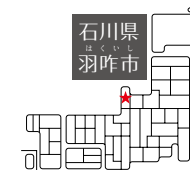


柴垣天然岩ガキ

ビジネス部門

水産

伝統の承継

〒 925-0001 石川県羽咋市柴垣
町 19 字 106-2

tel 0767-27-1022

fax 0767-27-1460

mail jf-sbgk@p1.cnh.ne.jp



ベテランと新人の海士たち

概要

- ◆ 伝統の海士漁再生を核に、応援隊の結成や海士漁の妨げとなるワカメの加工等を通じ地域の活力を創造。
- ◆ 地元のキャラクター、シンガーソングライター等からなる岩ガキの応援隊「チーム柴垣」を結成し、歌やダンスにより岩ガキのPRを実施。



板ワカメの加工を行う地域の女性たち

成果

- ◆ 令和3年度には新たに3名の新人海士が誕生。ベテラン海士の指導を受けながら伝統漁業の継承者として期待。
- ◆ 令和2年度から、海士漁の妨げとなるワカメから、「柴垣天然板ワカメ」を商品開発。

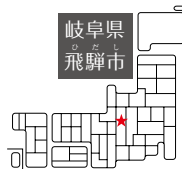
ぼくせいしゃ
有限会社牧成舎



牛乳メーカー6社合同でのクラウドファンディング掲載ページ

ビジネス部門

6次産業化



〒509-4242 岐阜県飛騨市古川町増島町 17-8
tel 0577-73-2226
fax 0577-73-4763
mail bok-hmakita@bokuseisysha.com



飛騨市長へクラウドファンディングのPR



自社オンラインネットショップ

概要

- ◆クラウドファンディングの活用により EC 強化から SNS 発信による消費者密着型販売で経営改善。
- ◆コロナにより学校給食や地元観光業向けの牛乳・乳製品の需要が激減した中で、スピーディーに EC 事業を強化。

成果

- ◆緊急事態宣言の発令により牛乳の消費が激減する中で、クラウドファンディングの募集を開始、12日間で約 500 万円を集める。
- ◆コロナの影響を受け EC 事業を強化。自社オンラインショップの売上は 296 万円(平成 28 年)から 2,100 万円(令和3年度見込み)に増加。



詳細は団体の HP から

あんじょう

安城農林高校エグプロ研修班
with 岡崎市

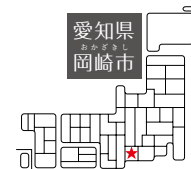


「岡崎おうはん」への竹炭給餌

コミュニティ部門

若者の活躍

6次産業化



〒446-0066 愛知県安城市池浦町茶筌木 1 番地
愛知県立安城農林高等学校
tel 0566-76-6144
fax 0566-74-1443
mail hachisuka03040161@yahoo.co.jp



官学連携による岡崎おうはんの普及活動



おうはんハニープリン、ハニーマドレーヌの商品化

概要

- ◆安城農林高校と岡崎市が連携協定を締結し、西三河の名産鶏「岡崎おうはん」の普及に向け、町おこしプロジェクトチームを結成。
- ◆環境保全活動(竹林整備)で廃棄された竹を炭に加工し、「岡崎おうはん」の飼料として活用し SDGs を実践。

成果

- ◆竹林整備により発生した竹炭を鶏の飼料とすることで卵の低脂質・低コレステロール化を実現するとともに、JGAP を取得。
- ◆地元洋菓子店と連携し、おうはんハニープリン、ハニーマドレーヌの2品を開発。



詳細は団体の HP から



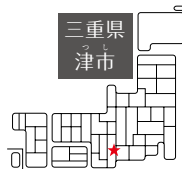
一般社団法人三重県 障がい者就農促進協議会



施設外就労による JA 津安芸のキャベツの収穫

コミュニティ部門

農福連携



〒514-0003 三重県津市桜橋
2丁目142番地
三重県教育文化会館
tel 059-253-4187
fax 059-253-3359
mail mieshuno@dune.ocn.ne.jp



特別支援学校くろしお学園地域伝統野菜高菜の収穫



ファーマーズマーケットでのマルシェ開催

概要

- ◆ 農業ジョブトレーナーを養成し、福祉事業所や農業経営体をサポートすることで、農福連携を推進。
- ◆ 県教育委員会と連携し、県立特別支援学校（知的障害）の農業実習の充実を図り、農業経営体を進路とする生徒を支援。

成果

- ◆ 県内の福祉事業所及び農業経営体における障がい者就農人数は、540人（平成28年度）から636人（令和2年度）に増加。
- ◆ 農業経営者と就農を希望する障がい者・家族の双方に関わり、障がい者を支援・指導する「農業ジョブトレーナー」養成講座を開催し、令和3年度でのべ474人が講座を修了。



詳細は団体のHPから →



食ブランド賞

お茶の通販・京都おぶぶ茶苑 合同会社

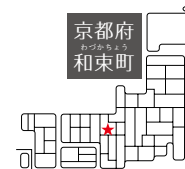


オンライン茶摘みイベントにて集合写真

ビジネス部門

6次産業化

輸出



〒519-1201 京都府相楽郡
和束町園大塚2
京都おぶぶ茶苑
tel 0774-78-2911
fax 050-3737-8489
mail obubu@obubu.com



Online Tea Educationの様子



インバウンド茶畑ツアーにて

概要

- ◆ 宇治茶生産地にて、日本茶の通信販売・輸出、オンライン教育部門への参入を通じ、町内ビジネスのDX化推進に貢献。
- ◆ ネット販売や輸出のほか、年4回茶畑直送の茶葉が届く「茶畑オーナー制度」等の取組も実施。

成果

- ◆ 平成20年から輸出に取り組み、世界116ヶ国に茶葉を直送可能に。輸出額も900万円（平成27年度）から2,500万円（令和2年度）に増加。
- ◆ 令和3年度から世界中から日本茶を学ぶことができる「Online Tea Education」を開始するなど、オンライン教育部門にも参入。



詳細は団体のHPから →

大阪府立農芸高等学校



近畿生乳販連と協力したオンライン酪農体験の実施

コミュニティ部門

食育・教育



〒587-0051 大阪府堺市美原区
北余部 595-1

tel 072-361-0581
fax 072-361-0684
mail (本校HPより、お問い合わせ
ください。)



近隣小中学校を対象にした酪農体験の受け入れ



食育セミナーの開催（食博覧会大阪 2017）

概要

- ◆ 府内唯一の酪農教育ファーム認証牧場として、消費者の大阪酪農に対する理解向上と牛乳消費の拡大を目標に活動を開始（一般社団法人中央酪農会議より認証）。
- ◆ 近隣の方々や小中学校を対象に、大阪酪農の現状と地域産牛乳の必要性について発信。

成果

- ◆ 酪農体験の参加者人数は、64人（平成27年度）から165人（令和2年度）に増加。コロナの影響によりオンラインでも実施。
- ◆ 関係機関と連携し、食博覧会大阪での食育セミナーや地域マルシェなど様々なイベントを通じ、地域酪農や牛乳・乳製品をPR。



詳細は団体のHPから →



空中に輝く新林賞

空中の村



フランス技術者によるツリーハウス製作

ビジネス部門

森林・林業

6次産業化



〒637-1441 奈良県吉野郡
十津川村大字小川 112

tel 0746-62-0567
fax 0746-62-0567
mail info@kuuchuu-no-mura.com



足場を組み立てず、地上15mで作業



空中の村 案内図

概要

- ◆ 森林を活用したアウトドア施設「空中の村」の管理、運営を行い、村の新たなツーリズムの拠点施設として、誘客を促進。
- ◆ フランス国籍の地域おこし協力隊員が、地域の森林を活かし、アート×アスレチック×憩いの場を融合させたアウトドア施設を整備。

成果

- ◆ 来園者数は373人（令和元年度）から3,782人（令和2年度）へと増加。
- ◆ 施設内に十津川の木材をふんだんに使用し、園内で提供される弁当には地元の食材を提供するなど、村内の資源を有効活用。



詳細は団体のHPから →

ひなたや

株式会社日向屋

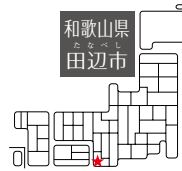


日向屋スタッフ

コミュニティ部門

荒廃農地対策

鳥獣害対策



〒646-0101 和歌山県田辺市
上芳養 755-2
mail hinataya.world10@gmail.com



農作業受託作業



耕作放棄地を再生

概要

- ◆ 鳥獣害、担い手不足、荒廃農地等の地域課題を解決するため、平成 29 年に若手農家が鳥獣捕獲チームを結成。
- ◆ 農作業受託・農産加工品の販売を柱とした、鳥獣害対策と荒廃農地解消を組み合わせた地域活性化事業を実施。

成果

- ◆ 梅の剪定や草刈り、伐採等の農作業受託件数は、4件（平成 29 年度）から 20 件（令和2年度）に増加し、荒廃農地の再生に貢献。
- ◆ 有害駆除捕獲実績は 140 頭（平成 29 年度）から 78 頭（令和2年度）まで減少しており、農産物被害も減少。



詳細は団体の HP から →



ブランディング確立特別賞

なす まこと

那須 誠

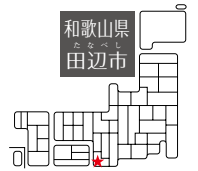


紫宝梅「ミスなでしこ®」と那須氏

個人部門

ブランド化

輸出



〒646-0216 和歌山県田辺市
下三栖 200-1
和×夢 nagomu farm®
tel 080-5630-0756
mail nagomufarm@gmail.com



香港百貨店での青果販売



千両箱風 個人通販用段ボール

概要

- ◆ 平成 17 年に父親が品種開発し生み出した果皮が紫色の大梅品種のブランディングと PR の両活動を、自らが旗振り役となって実施。
- ◆ 「ミスなでしこ®」として商標登録取得等のブランド化、香港への輸出、誕生した地区の幹線道路沿いへの看板設置等の宣伝も実施。

成果

- ◆ 「ミスなでしこ®」の出荷量は、様々な PR 活動と販路拡大の結果、1,754kg（平成 29 年産）から 3,325kg（令和3年産）に増加。
- ◆ 香港への輸出量は、60kg（令和元年産）から 760kg（令和3年産）へと増加。



詳細は団体の HP から →



う え だ て る よ し
植田 輝義

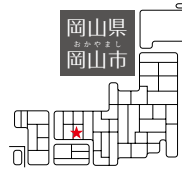


2021 年國和産業株式会社コラボ パクチャーゼリー完成

個人部門

ブランド化

企業との連携



〒701-2141 岡山県岡山市北区
牟佐 3060
株式会社アーチファーム
tel 086-229-1129
fax 086-229-1129
mail yellow-teru@hi.enjoy.ne.jp



岡山交通株式会社とコラボ 黄ニラタクシー



農場にてパクチャー奉納祭前のお祝い

概要

- ◆ 地元特産の黄ニラと岡山パクチャー大使として、メディアや祭への参加により産地をPRするとともに、学校、福祉、企業とも連携。
- ◆ 岡山交通株式会社とコラボし、「黄ニラタクシー」を誕生。タクシー乗務員への農業指導も実施。

成果

- ◆ メディア等でのPRにより、黄ニラと岡山パクチャーの売上高は、1,620万円(平成29年度)から2,070万円(令和2年度)に増加。
- ◆ 「黄ニラタクシー」のほか、地元企業とコラボし「パクチャーゼリー」を商品化するなど、企業連携も強化。



詳細は団体のHPから →

く さ ま だ い

草間台エコミュージアム
推進協議会

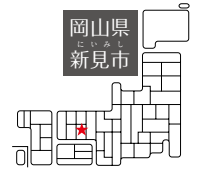


小学生の洞窟体験

コミュニティ部門

環境保全

荒廃農地対策



〒719-2641 岡山県新見市
草間 7471-1
草間台エコミュージアム(内)
tel 0867-74-9001
fax 0867-74-9000
mail kusa_eco2641@yahoo.co.jp



新しく作成したガイドマップ

概要

- ◆ 草間台地の自然・産業・歴史文化等の宝物を発見し、それらを護るとともに発信し、地域振興に貢献。
- ◆ 地域を自然、産業、歴史文化等の宝物にあふれる「エコミュージアム」(屋根のない博物館)と捉え、里山の維持保全等を実施。



きのこ栽培講習会

成果

- ◆ 荒廃農地解消のためのソバ栽培のほか、里山の荒廃防止のためのきのこ原木栽培を実施。
- ◆ エコツアー、そば打ち体験等による都市住民との交流のほか、コロナ後を見据えたガイド養成講座やガイドマップ作成を実施。



詳細は団体のHPから →



しのうむらのうきち
株式会社敷信村農吉

農と地域づくり賞

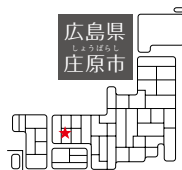


地元生乳 100%の手作りチーズは国内外で高評価

ビジネス部門

地産地消

地域づくり

〒727-0014 広島県庄原市
板橋町 1358-1

tel 0824-72-7634

fax 0824-72-1824

mail nosan@nokiti.jp



保育所では、田んぼ・園庭の畑で農作物を育てる



野菜集荷場は地域の農家の憩いの場にも

成果

概要

- ◆ 里山の自然を活かした保育所の運営を軸に、農産物やチーズの製造・販売等の地域密着型の事業を展開。
- ◆ 保育所では、園庭での野菜栽培、自社農園の農産物を使った給食の提供など、「身土不二」を教育。

- ◆ 野菜やチーズ等の売上は、コロナの影響がある中で、約7,400万円(平成30年度)から約8,000万円(令和2年度)に増加。
- ◆ 地元牧場の生乳を100%使用した高品質なナチュラルチーズは、国内・国際のチーズコンクールで金賞を受賞。



詳細は団体のHPから →

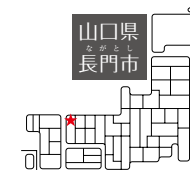
ろくさんでいーねっと

株式会社 63Dnet

ビジネス部門

6次産業化

地産地消

〒759-4102 山口県長門市
西深川 270 番地 10
(本社:山口県長門市西深川2608番地2)
ながとラボ

tel 0837-23-0777

fax 0837-23-0775

mail 63dnet@gmail.com



「どんぐり農場」の様子。地域生産者の6次産業化を支援



海辺のパン屋「ララベーカー」



「ながとラボ」加工場の様子

概要

- ◆ 地域食材を使った、コロナの状況でも強い商品づくりと幅広い販売チャンネルの確立により、地域事業者の収入確保に貢献。
- ◆ 農業生産者が6次産業化を行うために必要な施設や専門知識・ノウハウを補完し6次産業化を支援する「ながとラボ」を運営。

成果

- ◆ 通信販売の促進等により、小売事業の売上高は約1,400万円(平成28年度)から約4,200万円(令和2年度)に増加。
- ◆ 地域食材専門の店舗「LaLa フラン」、道の駅内に「ララベーカー」、地元食材を使った非常食の販売など、販路を拡大。



詳細は団体のHPから →



サステナブル賞

くろかわ しんたろう
黒川 真太郎

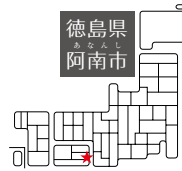


毎月1回 JRT (四国放送) ラジオで活動等の情報発信

個人部門

6次産業化

地産地消



〒779-1510 徳島県阿南市
新野町東山 56-4
彩魁企画
tel 070-5511-3151
mail saikai-k@mk.pikara.ne.jp



過疎地の空き家を有効利用したパン屋



横浜の子どもたちが休校中の学校で合宿・交流活動

概要

- ◆ 農業・食品加工・販売の3本柱の小さな6次産業を実践するとともに、子育て環境の充実として学童保育を立ち上げ運営。
- ◆ 環境保全型農業での農産物づくりを実践。お米の消費拡大のため、パンや菓子等の食品加工、全国の消費者へのネット販売も実施。

成果

- ◆ 平成29年10月にパン店舗を開店。売上は初年度の109万円から令和2年度には445万円に増加(週に一度の火曜日限定営業)。
- ◆ 10種類の野菜セット、ブランド米、パンセット等を全国発送しており、現在全国で約240世帯が登録中。



詳細は団体のHPから



かみやま
神山しずくプロジェクト

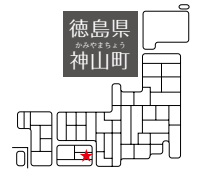


スギにしかできない赤白の杓目が美しい木製品

コミュニティ部門

森林・林業

移住・定住



〒771-3310 徳島県名西郡
神山町神領西上角 194
SHIZO STORE
tel 050-2024-2090
fax 088-636-7293
mail info@shiz.jp



薪割りや木工体験など様々な啓発イベントを開催



町内の遊休施設を活用した自社工場の開設

概要

- ◆ 山林課題の啓発活動、町産材を活用した商品開発・販売など、地元産業振興により地域活性化に貢献。
- ◆ スギの弱点とされる赤白の木目を活かしたデザインの木製品を開発。地域おこし協力隊制度を活用した職人育成事業も実施。

成果

- ◆ しずくブランドの木製品やアロマ商品の売上は400万円(平成28年度)から1,300万円(令和2年度)に増加。
- ◆ 会員関連団体の雇用者9名全員が町内に定住。地域おこし協力隊を受け入れた事業も展開しており、移住促進に貢献。



詳細は団体のHPから

「高松盆栽の郷」 推進協議会

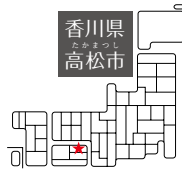


小学生も参加した「高松盆栽学校」

ビジネス部門

伝統の承継

輸出



〒769-0102 香川県高松市国分寺町国分 353-1
香川県農業協同組合 高松盆栽の郷
tel 087-874-2795
fax 087-874-2811



高松盆栽の里フェスティタ 2021 (ガールズユニット「ボンクラ」)



盆栽をイメージした和三盆「箱盆」

概要

- ◆ 国内外に向けた高松盆栽の情報発信と担い手の育成による JA 香川県「高松盆栽の郷」の発展に向けた取組。
- ◆ 4ヶ国語対応のウェブサイト等により国内外に高松盆栽の紹介・販売を実施。令和2年度はオンラインでのオークション等を実施。

成果

- ◆ ウェブサイトには世界 50ヶ国以上からアクセスがあり、令和2年度の盆栽の輸出本数は約 12,000 本に増加。
- ◆ 拠点施設「高松盆栽の郷」の令和2年度の年間来場者数は約 9,000 人あったほか、盆栽学校や BONSAI 技術研修も実施。



詳細は団体の HP から →



先端発信賞

愛媛県立三崎高等学校 「せんたんプロジェクト」

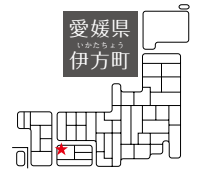


みさこう Cafe

コミュニティ部門

企業との連携

移住・定住



〒796-0801 愛媛県西宇和郡伊方町三崎 511 号



第3回ダルメイン世界マーマレード&フェスティバルで金賞を受賞



オンラインイベントの開催

概要

- ◆ 高校生が主体となる地域の魅力開発及び発信により、伊方町の関係人口の増加と移住・定住者数の確保に貢献。
- ◆ 全校生徒を PR、カフェ、商品開発、ツアー、アート、防災の6つのグループに分け探究活動を実施。

成果

- ◆ 本プロジェクトにより、県外からの入学志願者数が増加し、地元への就職率も 25% (平成 28 年度) から 40% (令和2年度) に増加。
- ◆ 地域の特産物を活用した「みさこうカフェ」を展開しているほか、開発した「だいだい」マーマレードが金賞を受賞。



詳細は団体の HP から →

よしのぶ
吉延営農組合

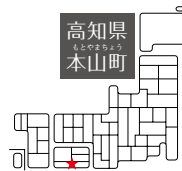


吉延集落の棚田

コミュニティ部門

環境保全

鳥獣害対策



〒781-3692 高知県長岡郡本山町本山 504

高知県本山町役場 まちづくり推進課

tel 0887-76-3916

fax 0887-76-2943

mail sangyoushinkou@town.motoyama.lg.jp



鳥獣被害防止柵設置の様子



棚田コンサート

概要

- ◆ 地域の持続可能な営農体制づくりに加え、棚田散策ツアーの実施など地域活性化を目指した幅広い活動を実施。
- ◆ 集落一体となって防護柵の設置等の獣害対策を行っているほか、田んぼアートや棚田コンサート等の都市との交流事業も実施。

成果

- ◆ イノシシの水稲被害を防止するため、平成 25 年度には 3.5km、令和元年度には 1.2km の獣害防止柵を設置。
- ◆ 機械の共同利用や農作業の受託により、持続可能な営農と棚田等の原風景の保全に貢献。

みやま市環境衛生課
循環型社会推進係

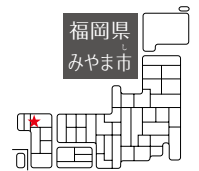


オープニングイベント ルフランマルシェ

ビジネス部門

環境保全

地産地消



〒835-0113 福岡県みやま市山川町重富 121

みやま市役所

環境衛生課循環型社会推進係

tel 0944-32-8575

fax 0944-32-8576

mail junkan@city.miyama.lg.jp



日替わりカフェの様子

概要

- ◆ 廃校を活用し、生ごみ等から電力と液肥を生み出す資源化施設と市民が集う賑わいの施設「ルフラン」をオープン。
- ◆ 廃校の校舎は食品加工室、カフェ、直売所（無人販売）、シェアオフィスなどに改装。市内外から多様な人が訪れる施設となった。



食品開発室で開発・販売されたドレッシング

成果

- ◆ 令和元年度はカフェ来客数 1,536 人、加工室利用 32 回、オフィス利用者は 10 人であったが、令和3年度はカフェ来客数 2,500 人、加工室利用 321 回、オフィス利用者 97 人に達する見込み。
- ◆ 利用者の中から、自分のお店をオープンさせた方もあらわれた。

佐賀県立伊万里実業高等 学校フードプロジェクト部

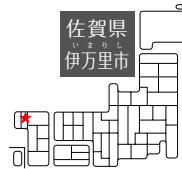


フードドライブ カフェ・マルシェ

コミュニティ部門

若者の活躍

地産地消



〒 848-0035 佐賀県伊万里市
二里町大里乙 1414 番地
(連絡先) フードビジネス課
tel 0955-23-4138
fax 0955-23-4138
mail maeda-namiko@education.
saga.jp



伊万里焼協同組合と連携した伊万里焼カフェ



商店街の空き店舗を活用したまちなかカフェ

概要

- ◆ 規格外地域農産物を活用した商品開発・カフェの運営。コロナの影響によりテイクアウト形式・移動型マルシェも実施。
- ◆ 食品ロスを防止するため、家庭で眠っている余剰食材を回収し子ども食堂や福祉施設等に届ける「フードドライブ」活動も実施。

成果

- ◆ 規格外品を活用した商品については、2種類（平成28年度）から、15種類（令和3年度見込み）に増加。
- ◆ まちなかカフェ・マルシェにフードドライブを併設し、100点以上の食材を集め、子育て支援センター等に提供。



詳細は団体のHPから →

山原女性農業者の会

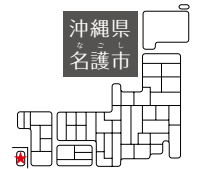


若手会員との加工講習会

コミュニティ部門

6次産業化

地産地消



〒 905-0015 沖縄県名護市大南
1-13-11
沖縄県北部農林水産振興センター
農業改良普及課
tel 0980-52-2752



若手女性農業者とともに他地区へ視察



料理レシピ本・体験ミニガイド本

概要

- ◆ 沖縄本島北部地区の女性農業者等で構成され、農業経営の安定や若手農業者の育成等を実施。
- ◆ 島ヤサイ等の伝統食材・地域食や農産物活用法の伝承・継承活動、農泊関連活動も実施。

成果

- ◆ 新規就農者支援数については、年間9人（平成28年度）から34人（令和2年度）に増加。
- ◆ 島ヤサイ等の栽培方法やレシピをまとめた冊子や、地域の味や暮らしをまとめたガイドブックを発行。